

次の世代に続く
エコロジーな活動

NEXT STEP

コンクリート、汚泥、木くず：
多様な廃棄物を再利用へ

藤クリーンは、解体現場から
出た廃棄物を建設資材や燃料な
どに生まれ変わらせる会社です。
中間処理場を開設したのは30年
ほど前。「建てて壊すだけでは
いずれ地球の資源は枯渇する」
という近藤義会長の思いから、
コンクリートの再生碎石処理
事業が始まりました。時代の二
次に対応し続け、現在取り扱っ
ているのはコンクリートくず、燃え
殻、汚泥、廃プラスチック、木くず
など10種類。再生碎石と再生砂、
再生処理土は岡山県認定工コ製
品に認定。建設現場の整地など

開かれた環境創造企業として
地域貢献活動を拡大

「循環型社会に必要な事業で
あること、クリーンな業務を続け
ていることを知つてもういたい」
と近藤会長。情報公開など地道
な活動を続けてきました。近年

は、ESD（※2）的な視点で事業
を推進。「徹底してリサイクル
していることを地域の方に直接
見て頂きたい。」と見学も受け入れ
ています。場内に入るとあちら
こちらから社員の方の挨拶の声
がし、通路への散水など環境を
美化する取り組みが見られます。また、岡山
などを植えて緑化し、近隣住民
の憩いの場づくりを計画して
います。



緑化エリアの法面に古畠を活用。

リサイクルで持続可能な社会に貢献する 藤クリーン株式会社

廃棄物から資源を生む処理施設



廃棄物処理から再生品加工まで担うリサイクルセンター。

に活用されています。

リサイクル率100%を目指して
研究・開発を推進。平成29年から
は岡山理科大学との産学連携
事業がスタートし、がれきの土砂を
高品質の改良土として再資源化
するための高度選別技術を研究
しています。また、古畠を法面（※
1）の補強材に活用する試験利用
を実施。処理場の外周に桜や芝桜
などを植えて緑化し、近隣住民
の憩いの場づくりを計画して

います。

は、ESD（※2）的な視点で事業
を推進。「徹底してリサイクル
していることを地域の方に直接
見て頂きたい。」と見学も受け入れ
ています。場内に入るとあちら
こちらから社員の方の挨拶の声
がし、通路への散水など環境を
美化する取り組みが見られます。また、岡山
などを植えて緑化し、近隣住民
の憩いの場づくりを計画して
います。

ます。

は、ESD（※2）的な視点で事業
を推進。「徹底してリサイクル
していることを地域の方に直接
見て頂きたい。」と見学も受け入れ
ています。場内に入るとあちら
こちらから社員の方の挨拶の声
がし、通路への散水など環境を
美化する取り組みが見られます。また、岡山
などを植えて緑化し、近隣住民
の憩いの場づくりを計画して
います。

お話を聞きしたのは



藤クリーン株式会社
代表取締役
会長 近藤 義さん（右）
代表取締役
社長 松田 一寿さん（左）

コンケングループ 藤クリーン株式会社
〒702-8026 岡山市南区浦安本町133-2 TEL 086-264-8775



リサイクルセンターの仕事

※1：法面（のりめん）…切土や盛土により作られる人工的な斜面のこと

※2：ESD（Education for Sustainable Development）…持続可能な社会づくりの担い手を育む教育